

2017年11月6日

各位

三井住友信託銀行株式会社

米国独立系投資銀行グリーンズレッジ社の出資持分取得について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:橋本 勝、以下「三井住友信託銀行」)は、米国を本拠とする独立系投資銀行であるGreensLedge Holdings LLC(以下「GreensLedge社」)との間で、三井住友信託銀行が無議決権優先出資を通じて同社の約20%相当の少数持分を取得すること(以下「本件出資持分取得」)について、合意いたしましたのでお知らせいたします。

記

出資持分取得の背景・狙い

GreensLedge社は2008年に設立された米国独立系投資銀行であり、資産規模や資産クラス、投資家の関心といった観点から安定した成長が見込まれる北米オルタナティブ投資市場等における各種関連金融商品のストラクチャリング、アドバイザーおよび販売などのサービスを提供しております。三井住友信託銀行は、本件出資持分取得は、成長力のある企業への魅力的な投資機会と考えております。

三井住友信託銀行は、法人のお客様の多様なニーズに対して総合的な課題解決策(「トータルソリューション」)を提供する「法人トータルソリューション事業」と、法人のお客様の資産運用ニーズの高まりを踏まえて高度で専門性の高い資産運用サービスを提供する「法人アセットマネジメント事業」を展開しております。

これまで GreensLedge 社とは、北米 CLO^{*1}運用会社にソリューションを提供する事業への共同投資等を始めとする、様々なビジネスを共に展開してまいりました。

今後、両社は日本およびアジア投資家への北米オルタナティブ資産の投資機会を提供するファンド組成等を通じ、三井住友信託銀行のお客様に対し、これまで以上に付加価値の高いサービス提供を行い、上記両事業の成長に資する取組みを図ってまいります。

<株式譲渡のスケジュール>

2017年11月1日	株式譲渡契約締結
2017年11月中旬以降	株式譲受実行(予定)

^{*1}CLOは、Collateralized Loan Obligationの略で証券化商品の一つ。投資適格未満の企業向けシンジケートローン(バンクローン)を担保とし、証券化の手法で機関投資家から資金調達を行うもので、当該ローン市場の50%程度の資金供給を担っているとされている。北米CLO市場規模は2017年6月末現在約4,580億ドルで、金融危機後の発行が全体の90%を占めるとされている。

<ご参考>

GreensLedge 社の概要

名称	GreensLedge Holdings LLC
設立	2008 年
拠点	ニューヨーク、ロンドン、東京、ソウル
事業内容	100%子会社である GreensLedge Capital Markets LLC (以下「GLCM」)を通じて、CLO の組成・販売を始めとするグローバル・ストラクチャード・クレジットおよびオルタナティブ投資市場に重点を置いた投資銀行アドバイザリー業務および関連取引サービスを提供
アレンジ実績	GLCM の 2016 年 CLO/CDO ^{*2} アレンジ実績:60 億ドル以上
大株主及び持株比率	GreensLedge 社のパートナー・従業員が 100%保有
当事会社間の関係	三井住友信託銀行と対象会社間に記載すべき関係はありません。

^{*2} CDO は、Collateralized Debt Obligation の略で証券化商品の一つ。複数のローンまたは公社債等の資産を保有するオリジネーター(原資産所有者)が、それらを SPV(特別目的事業体)に譲渡し、当該資産を裏付けに発行した社債の売出や信託受益権の譲渡等を行うことで、投資家から資金調達を実施するもの。その担保がローンのみで構成される場合は CLO、債券等で構成される場合は CBO(Collateralized Bond Obligation)と呼ばれ、CDO は CLO 或いは CBO の何れか、またはその両方を包含する商品

以上